

令和3年度大阪医科大学医師会総会議事録

大阪医科大学 内科学Ⅳ 講師／書記 石田志門

日 時： 令和3年6月28日(月) 18:00~19:00
場 所： 大阪医科大学 P101教室(新講義実習棟棟1階)
出 席： 佐野顧問、森脇会長、中野副会長、萩森副会長、梶本副会長、
浮村理事、寺崎理事、金沢評議員、新田評議員、奥評議員
津田評議員、上杉監事、瀧谷会計、石田書記、大須賀会員、
鰐淵会員、上田会員、星賀府医理事(敬称略)

議長に中野副会長が選出され、議事が進められた。

議長が、出席18名、委任状275、計293、総会の定足数である会員数512の過半数257を超えているので、総会が成立することを宣言し、開会した。

<会長からの挨拶>

お忙しいところご参集いただきありがとうございます。平素は医師会活動にご協力を賜りありがとうございます。2018年6月に会長を拝命して、3回目の総会です。昨年は総会を11月9日に開催しましたので、まだ、8か月経っていませんが、例年通りこの時期に開催しました。まだまだ感染症が収まらず、ワクチン接種が進み集団免疫を獲得するには時間がかかると思われます。本日は迅速に進行し、1時間くらいで終了する予定です。

1. 医師会名称について(森脇会長)

1) 医師会名称について

本年4月1日に大阪医科大学は大阪薬科大学と統合し新たに「大阪医科大学医学部」となりました。当医師会は、昭和23年に59名の会員からスタートし73年間、大阪医科大学医師会という名前に愛着のある会員の先生方も多いかと存じますが、大学名の変更に伴い当医師会名を変更するかどうかを審議お願いします。

資料のとおり、大学が統合されたり大学名が変更されたりした場合、その時点で新しい大学名を冠にした医師会名に変更されています。また、鳥取大学医学部医師会や島根大学医学部医師会のように「医学部」が入っている医師会もありますが、東京大学医師会や近畿大学医師会のように「医学部」が入っていない医師会が多いです。当医師会には看護学部の先生も加入されていますので、ご考慮の上、「大阪医科大学医師会」にするか「大阪医科大学医学部医師会」とするか議論いただきたく思います。

〔質問事項〕 資料の富山大学と佐賀大学は、市の医師会名が記載されていますが、大学独自の医師会は存在しないのですか。

〔回答内容〕 大学独自の医師会はありません。

〔意見〕 看護学部の所属ですが、医学部を卒業しているので、「医学部医師会」でも私は構いません。

〔意見〕 大学名だけでいいと思います。薬学部の先生も勧誘しましょう。

〔審議結果〕 「大阪医科大学医師会」に名称変更することに、全会一致で決定しました。

2) 医師会名変更に伴う届出事項及び経費について

医師会名の変更を、日本医師会と大阪府医師会、税務署と銀行及び SMBC ファイナンス、国立国会図書館に届出します。当医師会員、大阪府内の医師会及び大学医師会、学内の各部署に案内状を届けます。印章や封筒や案内板を変更します。それに伴い、約20万円の経費がかかります。

ご承認いただけますでしょうか。

〔審議結果〕 全会一致で承認されました。

3) 医師会名変更に伴う会則の改定について

「大阪医科薬科大学医師会」への改称に伴い、会則を改定します。変更点は、「大阪医科大学医師会」を「大阪医科薬科大学医師会」に7か所変更し、附則に本日の日付を明記します。内容に変更はありません。会則の変更についてご審議ください。

〔審議結果〕 全会一致で承認されました。

2. 令和2年度事業報告ならびに令和3年度事業計画（森脇会長）

進行表では「2. 事業報告」「3. 事業計画」となっていますが、資料の通り同時に進めます。

1) 大阪医科大学医師会の充実

会員数は530名（令和2年10月31日現在）から512名（令和3年6月16日現在）と減少しました。本年4月6日（火）に開催された研修医の入職時のオリエンテーションにおいて、森脇会長に加えて、茂松大阪府医師会会長が詳細に、星賀大阪府医師会理事が熱く、医師会の役割、活動内容や医賠償保険等医師会入会のメリットを説明し、勧誘を行いました。にもかかわらず1年目の研修医の入会は1名のみで、昨年入会13名から増えるどころか大幅に減少しています。オリエンテーションで入会申込書を提出させる大学もあり、市大が58名、近大が28名、関西医大が43名、と加入率が80%に達しているのに比べて、当大学と阪大は数%です。このことは、大阪府医師会でも問題になっています。他府県の病院での研修などで医賠償保険の加入が必須となっているのに、何故入会者がいないのか、調査が必要です。

大阪府医師会主催の新研修医ウェルカムパーティーは、昨年も今年も開催される予定でしたが、中止になりました。今年度は、2年目の研修医を対象とした大阪府医師会勤務医部会主催のウェルカムパーティーが11月7日に計画されているので、多数参加できるように配慮します。

大阪府医師会会長の茂松先生の特別講義が、第3学年生を対象に5月21日（金）に行われました。この講義は昨年度も開催されています。

当医師会の役員は、顧問に新たに佐野学長が就任されました。あとは全て同じメンバーで進めていきます。

医師資格証は、日本医師会が発行する医師資格を証明するための電子証明です。身分証明ができ、講習会受付の出欠管理にも利用されています。取得を促進するために、掲示板に案内ポスターを掲示し、医師会入会申込書に申請書を同封しました。また、会報56号の「ホームページの広場」コーナーに「医師免許証と健康保険証の IC カード化」を掲載しました。現時点で12名の会員が取得しています。日本医師会は、発行推進のために、5,500円が必要だった5年ごとの発行手数料を無料にしました。日本医師会として IT 関連の有効性を高めていく狙いもあります。今年度も引き続き、推進していきます。

日本医師会生涯研修制度は、引き続き単位取得をお願いします。3年間で60単位取得すると認定証が発行されます。

当医師会のホームページの更新も定期的に行っています。当医師会についての情報や、会報第54号と第55号を掲載しました。会報はPDFファイルで閲覧できます。今年度も引き続き掲載します。

当医師会における大阪府医師会の会員区分の見直しを昨年から継続して行っています。レジデントの時に入会し、その会員区分のまま現在に至り、現在の会員に見合った区分になっていない場合が多く見受けられるので、順次変更していきます。会費がアップする会員に誠意をもって事情を説明し、理解を求めています。

減免会員の当医師会運営維持費について、高齢減免されている日本医師会 B 会員からは、日本医師会費と大阪医師会費同様、当医師会運営維持費も徴収しないこととします。

総会の出欠及び委任状を書面に加えてインターネットで提出できるようにしたところ、昨年は100件、今年は132件のインターネット利用があり、委任状をスムーズに回収できています。来年度も引き続きこの形で進めていきます。

2) 大阪医科大学医師会の学術活動

毎年、会報を2号発行しています。昨年度9月15日に発行した第54号では「新型コロナウイルス接触確認アプリ」について、3月15日に発行した第55号では座談会「with コロナ時代の学会発表について」について特集し、今年度9月15日に発行予定の第56号では座談会「関西 BNCT 共同医療センター」(仮題)を特集する予定で座談会を終えました。

学会等助成は、令和元年度に選考した令和2年度分、8学会に計75万円を助成し、昨年11月9日(月)に開催した当医師会総会内で贈呈式を行いました。令和3年度分は、今年10月に公募を行い、11月10日(火)に5学会に計50万円を助成することを決定しました。本会で行う予定だったの贈呈式は、コロナ禍で総会時間短縮のため行いません。

北摂四医師会医学会総会は、昨年6月16日(土)に摂津市医師会の当番で摂津市立コミュニティプラザにおいて開催を予定していましたが、感染拡大防止のために中止にしました。それに伴い、一般演題の募集及び優秀演題賞の選考も中止しました。北摂四医師会医学会理事懇談会は書面審議で行いました。今年度は、昨年に引き続き摂津市医師会の当番で、オンデマンド WEB 開催し、閲覧は北摂四医師会医学会会員限定としました。小児科学教室の芦田教授の特別講演を動画配信し、一般演題10題のPDFを配信しました。今年は「優秀演題賞」ではなく、「コロナ禍奨励金」として全一般演題に1万円を贈呈しました。来年度、どのような形式で開催するか検討していきます。

先に行われた病院機能評価で、地域との情報共有について指摘がありました。北摂四医師会分科会の開催状況を把握していませんでしたので、今年度調査し、来年ご報告できるようにいたします。

大阪府医師会勤務医部会第2ブロックは、ブロック委員会3回開催が予定されていましたが、中止となり、1月9日(土)に開催予定だった第2ブロック研修会も中止となりました。

大阪府医師会勤務医部会常任委員会は、星賀府医理事が司会をし、年間15回 Web 開催されました。Web になったので参加しやすくなり、森協会長が月1回程度参加しています。

在阪5大学医学生と語る会が、1月22日に開催され、星賀府医理事、小野教授、学生5名が参加しました。

3) 日本医師会・大阪府医師会・在阪5大学医師会・地域医師会との連携強化

日本医師会代議員会は、昨年6月27日(土)に第147回が開催され、日本医師会新会長に中川氏が選出され、日本医師会代議員に森脇会長が就任しました。今年6月27日に第149回が、日本医師会と都道府県医師会を Zoom で繋いで開催され、森脇会長が参加しました。中川会長からの報告のみで質問の有無を問われることなく進行され審議されなかったため、茂松府医会長が、日本医師会が置かれている現状認識と中川日医会長ご自身の責任の所在について、回答を求める文書を日本医師会代議員会議長に提出されることとなりました。

大阪府代議員会は、昨年度は5月28日(木)に第316回、6月25日(木)に第317回が開催され、第318回は中止になりました。今年度は6月24日に第319回が、府医医師会と郡市区等医師会を Zoom で繋いで開催されました。森脇会長、中野副会長、萩森副会長、浮村理事、土手理事が、当医師会事務所に集まり、参加しました。3月24日に第320回が開催される予定です。

大阪府医師会各種部会や委員会のメンバーは総会資料の通りで、昨年度から令和4年6月までの2年任期で、各委員積極的に活動いただいています。いつもご尽力いただきありがとうございます。

在阪5大学ならびに2行政医師会役員との懇談会が、昨年11月26日(木)に「withコロナ時代で医師の働き方はどう変わるか―医師会と病院の取り組み」をテーマとして開催され、星賀府医理事と森脇会長と浮村理事が参加し、浮村理事が発表する予定でしたが、直前で中止になりました。今年度は11月25日(木)に開催される予定です。

大阪府医師会郡市区等医師会長協議会が毎月原則第3金曜日14時から開催されていますが、出席しにくい時間帯で森脇会長がなかなか出席しません。当日配布資料と議事録を後日確認しています。

郡市区等医師会救急医療担当理事連絡協議会が昨年は7月27日(月)に、今年は7月26日(月)開催され、新田評議員が出席します。

大阪府医師会「女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会」は、女性に関する就業上の問題点を明らかにする等、有用な講習会です。昨年は開催が見送られましたが、今年度は開催される予定です。詳細は未定です。

大阪府医師会学術講演会は、感染症シリーズが10月29日(木)に開催され中野府医医学会運営委員が司会を務め、循環器シリーズが12月17日(木)に開催され星賀府医理事が「高齢者社会における循環器診療(特にチーム医療と人生会議)」について講演し、医学の進歩シリーズが1月21日(木)に開催され安田教授が「日常診療における足の痛み」について講演しました。

大阪府医師会会員名簿が昨年11月下旬に発刊されました。名簿は、隔年で発行されるので、今年度はありません。

全国医師会勤務医部会連絡協議会総会が、昨年10月24日(土)に、京都で開催される予定でしたが、今年10月2日(土)に延期になりました。

日本医師会女性医師支援センター事業「医学生、研修生等をサポートするための会」は、医学生や研修医の時期から男女共同参画やワークバランスについて明確に理解するために、有用な会です。昨年度は開催が見送られましたが、今年度は開催される予定です。詳細は未定です。

全国大学医師会連絡協議会を退会しました。

三島医療圏がん診療ネットワーク協議会は、1月28日(木)にハイブリッド形式で開催され、森脇会長が出席しました。

高槻市医師会勤務医総会・研修会は、昨年度は中止になりました。今年度は開催される予定です。

3. 令和元年度会計報告・会計監査報告（瀧谷会計）

瀧谷会計より、項目ごとの金額が報告されました。概ね予算通りに執行されました。

上杉監事より、会計報告に間違いがないことを認めたと報告がありました。

〔審議結果〕 全会一致で承認されました。

4. 令和2年度予算案（瀧谷会計）

瀧谷会計より前年度と同じ事業を展開するための予算案の提示がありました。医師会名称変更に伴う予算20万円は本会前半で承認されています。

〔審議結果〕 全会一致で承認されました。

5. その他

1) スチューデントドクターの医賠償保険について

〔質問事項〕 医師法において、共用試験合格を医師国家試験の受験要件とし、同試験に合格した医学生が臨床実習として医業を行うことができる旨、明確化されます。前者は令和7年4月1日に、後者は令和5年4月1日に施行されます。それに際し、医学生も医賠償保険に加入することが必至と思われるのですが、対応はどのようになっていますか。

〔回答内容〕 以前から、学生保険に加入しています。大阪府医師会としては議論できていないので、懸案事項です。

2) 資料に記載している大学名および病院名について

〔注意事項〕 資料に記載している大学名および病院名が、旧名称になっている箇所があるので、注意して作成するように指摘いただきました。

以上